2022年 3月号 No.507

生命の炎（いのち）

東京ふれあい医療生協
LINE公式アカウント 登録お願いします！
http://www.fureaico-op.info

生協の現況（2022年1月末日現在）
組合員数=16,981名　出資金総額=493,900千円

●発行所：東京ふれあい医療生活協同組合
〒114-0004 東京都北区堀船3-27-12
電話（03）3911-3630
●編　集：『生命の炎』編集委員会　●発行人：百瀬 文也

2・3月号「おじゃましーす」特別企画

3・11を忘れない【後編】

前月号に続き、福島のきらり健康生協の橋本常務理事を交えて災害時の対応について、話し合いの様子を掲載します。

福地常務 ここからは東京では災害対策としてどのようなことを想定すべきか、準備しておくべきか、ということについて話し合いたいと思います。

橋本常務 医療介護事業を行っている以上、事業継続はもちろん大切なことですが、職員・組合員ともにまずは自分と家族の命をまもることが大切です。そして、職場で災害に遭うこともありますし自宅で遭うこともあります。その中でも、まずはそれぞれ家族や家庭の状況を確認しなければならないと思います。そうなると、一度帰宅できたとしても今度は事業所に職員が出てこれなくなるということも起き得ます。実際に福島ではガソリンがなくて出てこれないという職員も出てきました。

福地常務 福島の場合はそのような状況になったため、職員の勤務先を住居の近くの事業所へ組み替えました。こういった対応ができるように様々な想定が必要だと思います。ただし、東京は津波ではなく水害が怖いというのもあります。特に荒川が氾濫してしまっては移動も全くできなくなってしまうので、やりようがなくなります。命も危ないそうなるときことは、医療介護をどうするか以前の問題になり、自身や家族のいのちをまもるということを考えなければなりません。その時には一斉に高いところに逃げられるように普段からハザードマップを確認したり、避難訓練をしたりしておくことが大切です。

国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所HPより
荒川氾濫時の浸水予想 山手線の外側は壊滅的なダメージ

阿部組合員 うちは遊園地のそばで墨田川も近いです。逃げていくとしたら上中里の向こうになるのですが、実際にはそんな時間はないと思います。そういった場所に住んでいる人は近くの高い建物に逃げるという考えも必要だと思います。ただ、上がったらいつ降りられるかは不安もあります。水害にならなかったとしても災害時に家以外にいたとき、いつ家に帰れるのかということも不安です。福島の震災の時は昼間で道は大丈夫だったようですが、職員や患者利用者の皆さんはすぐ家に帰ることができたのでしょうか。

橋本常務 帰れる状態にある人は帰りましたが、患者利用者でも帰れない方はでてしまいました。そういった方は事業所に泊まることになりました。泊まれる職員が対応することになりましたが、医療介護に携わる職員は夜勤等も経験しておりそのような状況に対応ができました。もちろん高齢者、小さな子どもがいる職員は帰らざるを得なかったわけですが、そうでない職員たちが先頭に立って対応してくれたことは本当にありがたかったです。対応自体はその日だけで終わることではなく、いつまでかかるかわからない状況でもありましたので、管理者を中心に役割分担をして、交代で対応するようにもしました。そういったことも予め考えておくことが重要だと思います。

リモートインタビューの様子

記事外でも活発な意見交換がなされました。

一方で出勤できない職員もでました。出勤できない職員は、法人に連絡をくれて、代わりに近くの避難所にボランティアに行くと言ってくれた。仕事以前に地域の一員として動いてくれたことは大切にしたいと思いました。

阿部組合員 利用者側としては、何か災害が起きたときに、大きな怪我は難しいにしても小さな怪我などで診療所にかかりたいという気持ちはあります。そのための体制づくりをしっかり作っていってほしいという思いがあります。

橋本常務 おっしゃる通りだと思います。福島の時は、怪我人があまり来ることはなかったというのは不幸中の幸いでした。診療所のため、救急対応は難しいということもあります。診療所として災害時にどういった役割を担うかということは考えておいた方が良いと思います。重大な怪我はやはり大きな病院となると思います。複雑な手術などはできないわけですから、支えるべきは組合員の生活ということになるのかと思います。そのうえで生協としてできることはどういったことなのか、組合員の皆さんと何ができるか考えておくことが重要です。

　あとは、待っているだけではなく、出かけるという視点も大事ですね。特にきらり健康生協の場合、訪問看護・介護がいち早く地域の患者利用者に連絡して駆け回ってくれました。また、きらり健康生協では水がない方々に配って回るなどの活動もしていたが、組合員のなかには自転車の

3.11当日の品川駅付近の道路

3.11当日の新宿駅前

東京都帰宅困難者対策ハンドブックより
3.11東京では公共交通機関が麻痺し多くの帰宅困難者が発生しました。

聴コ診ラ器ム

　子どもが生まれて一年と半年が経つ。ついこの間まで首も据わらなかったこの子もあちこち歩きまわり目が離せないようになった。やっとここまで大きくなったと思う。日々ほんの少しずつ成長する子どもの姿に一喜一憂してばかりいる。ただもうすでに、いつかは巣立つ、と想像するだけで寂しく思うくらいには世間同様の父親にはなれた。世間同様の父親なのでおむつの替え方で妻から、なっていない、と言われるし、もう少し大きくなるころにはコロナ禍は落ち着くだろうか、とも思う。もっとこの素晴らしい国の美しい景色を見せに行きたいと思うし、思い出の作れる場所へ連れて行きたいと思う。

　2年間コロナ予防・対策に取り組むも一方で、あまり子どもを外に連れ出せていない。第五波、第六波と繰り返し訪れる感染流行への対策には着実に取り組んではきたつもりだ。ただ今は地域とともに危機を乗り越えるべく懸命に取り組むしかできない。いつか何も考えず子どもと遊びに行けるようになるだろうか。段々と元の生活に戻り、いつかあっという間だったと思える日が来ると信じている。

もも

梶原診療所 利用委員会 掲示板 虹の声

今回寄せられた声を報告します。

声「自転車置くところがない」

診療所より 以前も同様の声があり、職員の駐輪所の一部を生協本部に移し、残りはできるだけ奥に駐輪し、利用者の駐輪スペースを確保しました。普段はそれで駐輪スペースが確保されていますが、利用者が多くなった時に置くところがなくなってるようです。本部駐輪場も現在いっぱいで、早急に職員駐輪所を確保し利用者の駐輪場を確保できるように検討します。

声「受付の人の声が小さくて聞こえない。はっきりと大きな声で言ってください。」

診療所より 医事課に報告し、相手が聞き取れるような声で話すように注意しました。

声「会計がとてもおそいです。もう少し早くしてください」

診療所より 会計の為の計算処理を普段はコンピューター1台で行っていますが、従来から込み合ってきたら入力1人体制を2人体制にしてきました。応援は個人の判断だけでおこなっていたため応援のタイミングが遅れることがあるようです。今後は、管理者が状況判断し指示するようにします。

診療所より その他患者さんに対する職員の対応へのご批判を数件頂きました（「言い方が冷たい」「そんざいな言い方」「くらい感じ」等）。職員の中での接遇改善の取り組みが停滞していることを反省し、頂いた声を職員全員で共有し、管理職が率先して「接遇改善運動」を実施していきます。

2021年度 理事会 から

1. 経営状況

2021年度12月	総収益	1億2,344万円
	経常利益	2,099万円
2021年度4月～12月累計	総収益	10億8,695万円
	総利益	8,525万円

12月も順調に推移しており、累積欠損は解消にまで至りました。一方で、1月以降感染再流行で感染症対策に追われる状況にあります。懸命に医療介護の継続に取り組んでまいりました。

2. コロナ対応

感染が再拡大する状況で、職員の中からも感染者が出る状況となりました。そのような中でも地域のいのちと健康をまもるべく、感染予防に十分に注意しながら、法人全体で医療介護事業の継続に取り組みました。職員の子どもが休校休園で学校がいけない状況になっても職員による一時預かりを行う等、行ってきました。

3. 生協ビル関連

東京都の道路拡張事業のため、生協ビル解体を行います。そのために生協ビル内事業所及び本部棟の事業所について移転を行っています。解体後については検討中となっています。

地域紹介のコーナ No 002 地域紹介

ゆたかや化粧品店
〒114-0004 東京都北区堀船3-30-11
☎03-3911-0524
営業時間 9:30～19:00（日曜定休※祭日は不定休）

梶原銀座商店街に店舗を構えてから60年になります。化粧品・婦人服・小物・雑貨を取り扱っております。

接客に関しては、お客様の立場で考えることを第一にしていますので、経済状況や必要最低限の商品のご提案を致しております。家族のみで経営しているので人の暖かさを感じる接客を行っていることが弊店の特徴です。

長期住所不明組合員の脱退手続きに関する公告について

東京ふれあい医療生活協同組合定款第10条の2の「組合員が第9条に定める住所の変更届を2年間行わなかったときは、脱退の予告があったものとみなし、理事会において脱退処理を行い、当該事業年度の終わりにおいて当該組合員は脱退するものとする」の規定に基づき、当該事業年度末において脱退処理手続きを行いますので、公告します。

各事業所に掲載されている長期不明組合員名簿にご自分のお名前が掲載されている組合員は、至急住所変更等の手続きをお願いいたします。なお、長期住所不明組合員の自由脱退手続きをさせていただいた方でも、住所が判明した場合は、その時点で従来の出資金額をもって登録をさせていただきます。

理事長　土屋 悟史

3.11 あのとき、私は

今回、インタビューから、私たちは震災について未来につなげていかなければいけないのだと実感しました。3.11を忘れないためにも、私たち自身の2011年3月11日も思い出し、あらためて被災された全ての人に思いを馳せることができればと思います。

新 卒で入った会社は高層ビルの最上階にあり、3月11日はひっくり返るくらいに大揺れしたことを覚えている。窓の外には火災が見え、どうなるのか不安なまま、帰宅難民の一員として歩いて家まで帰宅。家に帰ってテレビを確認すると東北の様子が流れていたが、何もできない悔しさと悲しさで涙したことは忘れない。（百瀬）

揺 れ方が普通じゃない！ 支部の会議で旧診療所の2階小会議室にいた私たち数人はうろたえた。机の下にもぐったひとのことは鮮明に覚えているが確か私は柱につかまっていたと思う。隣の休憩室の重く大きな輪転機がゴロゴロと動いていて尋常じゃないと感じた。

　10階に住む私は、玄関ドアを開けるのがコワいと思いながら帰宅した。案の定であった。その後、水・食料の備蓄はやっている。（阿部）

私 たち家族4人妹家族2人で祖母の葬儀参列の為、ロマンスカーに乗り神奈川県開成町へ向かっていた、駅到着直前、寝ていた子供たちを起こし始めたその時、電車は急停車、直後に電車が倒れるのではないかというほどの大地震。そのまま電車は4時間停車。その間何度も襲う大きな地震。当時長男7歳・次男3歳、じっと我慢する姿を思い出す。駅到着後、交通機関はすべて運休、徒歩で祖母宅へ向っている途中、前から走ってくる父の笑顔と涙が忘れられない。（一石）

ご意見・ご質問・紹介したい記事などございましたらお気軽にお寄せください。

宛先 東京ふれあい医療生活協同組合 機関紙編集委員会
〒114-0004　北区堀船3-27-12
TEL 03-3911-2005　FAX 03-5944-6015
MAIL soshiki@fureaico-op.com

ワード等で作成したデータをメールで送っていただいても構いません。その際は右記メールアドレスまでお送りください。

〆切 前月の第1月曜日まで。
（5月号に掲載したい場合、4月の第1月曜日までに原稿を送ってください。）
※必ず原稿を送る方の名前、住所、連絡の取りやすい電話番号を記載してください。